

知道 CHIDO-KAIHO 会報

88

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 鬼澤邦夫
発行日 平成28年5月1日
通巻 第88号
メール chidokai_mito@chidokai.jp
H P www.chidokai.jp

目次	夜のピクニック舞台化	1
	一高だより	異動・進学状況 アジア知道会 4
	学年・地域等同窓会	6
	新事務局長のご紹介	8

「夜のピクニック」を舞台化 水戸芸術館で9月上演

水戸一高の伝統行事「歩く会」を題材にした、恩田陸さん（昭58卒）の小説「夜のピクニック」が、9月17日より音楽劇として水戸芸術館で上演される。同館学芸員でこの舞台を影で支えている卒業生、本間康太郎さんに思いを語ってもらった。

（平成28年3月4日水戸芸術館にて）

話し手 本間康太郎（水戸芸術館ACM劇場企画制作担当 平13卒）

聞き手 菊地 克仁（広報委員 平13卒）

菊地：舞台化決定までのいきさつは？

本間：当館演劇部門の高橋知伽江芸術監督が発案者です。脚本も担当します。「地元の題材で劇場や地域の財産になるような作品を作りたい」と考えて3年越しで温めていた企画です。去年の夏、深作健太さんに演出をお願いし、「是非」と引き受けていただいて具体的に動き始めました。10月にはお二人と一緒に「歩く会」取材しました。

菊地：去年は何コースですか？

本間：石岡コースです。風土記の丘がスタートの。約20時間、先回りしながらみっちり見てきました。団体歩行は1キロ以上の長い行列。日が沈んだ後の懐中電灯の明かりは幻想的でした。大休止の会場にぞろぞろと到着する姿、それを待つ先生や卒業生、PTAの方達。この行事はたくさんの人に支えられて成り立っていたんだということを知りました。

菊地：原作は大洗コースですよ



本間氏（平13卒・向かって右側）と菊地広報委員（平13卒）



3月に行われたオーディション

ね。私たちが1年の時のコース。

本間：当時、恩田さんが取材をしていたという噂を聞いたことがあります。

菊地：原作に地名などは一切出さないけど描写が妙に生々しく感じました。納得です。今回のお芝居はどんな仕上がりになりそうですか？

本間：原作では「北高の鍛錬歩行祭」という名称でしたが舞台版では「水戸第一高校の歩く会」とそのままの名称でやります。出発式や大休止で校歌を歌うじゃないですか。恐らく、劇中で「旭輝く日の本の～♪」をそのまま歌います。私は歩く会の経験者ですので、リアリティを持たせるためのお手伝いができたらと思います。

菊地：歌うのですね、あの校歌を。

本間：そこは入れて下さいとお願いしました。卒業生が見て納得できる作品にしたいですから。

菊地：「ひたすら歩く、物語ですが、音楽劇としてどう表現されますか？

本間：例えば、モノログのような心情を表す場面が歌になって組

※次ページに続く

み込まれると思います。課題は、延々と歩いている感じをどう見せるかです。舞台装置などの詳細はまだ決まっていますが、どうぞお楽しみに。



本間康太郎氏

菊地：「歩く会」での思い出はありますか？

本間：3年の時、ラスト5キロで両足首にきちゃって

大ブレーキ。立ち止まらずにゴールはしたのですが、だいぶ順位を落としました。菊地さんは？

菊地：関所巡りをしていました。グルメコースです。もちろん順位は後ろの方。

本間：それはそれで楽しいですよ。歩いた人の数だけ物語がある。それぞれに思い入れがあると思うんです。台本を書いた高橋監督は取材の後に「大事に大事に守られて続いている行事だ」と言っていました。合い言葉じゃないです

か「歩く会、って。初対面の方でも卒業生と知ると「一晩歩いた人？」って話になる。

菊地：共通言語のようなものかもしれないですね。思い出話は尽きませんから。

本間：公演期間中に皆さんが里帰りして、芸術館周辺の居酒屋で同窓会が開かれるようになったら嬉しいですね。もちろん、現役生にも見てもらいたいと思っています。今の現役1年生は校風を理解するというカリキュラムがあるそうで、そこにはぴったりだと思いますが、せっかくなら全校生に見てもらいたい。先輩方の力でなんとかならないかな、という妄想をしています（笑）

菊地：私も何か力になれたらと思います。公演は9月17日（土）～25日（日）ですね。是非、時間を作って観に行きます。

本間：お待ちしております。

音楽劇「夜のピクニック」

夜のピクニック 恩田陸さん（昭58卒）の小説。連載後2004年に出版され、第2回本屋大賞、第26回吉川英治文学新人賞を受賞した。2006年には映画化もされている。

水戸芸術館 文化庁が全国の優れた劇場・音楽堂をバックアップする特別支援施設（15館）のひとつ。この秋に水戸が舞台となる「夜のピクニック」を初舞台化する。

演出 深作健太氏を起用。映画監督・舞台演出家。父の深作欣二氏は本校OB。

作曲・音楽監督 扇谷研人氏を起用。自身のピアノ演奏で青春の物語をつづる。

公演期間・会場 9月17日（土）～25日（日）・水戸芸術館ACM劇場

27年度会員の集い 350名超で盛大に

平成27年11月14日（土）、水戸京成ホテルにおいて350名を超える参加により「知道会会員の集い」が開催されました。

まず講演会に先立ち、「生徒海外派遣プログラム」に参加した生徒のうち代表5名と引率教員による報告会が行われました。



幹事引継

続いて、加賀美理帆氏（昭59卒・城南病院院長）により「真のリハビリテーションを求めて～住み慣れた地域で活き活きと～」と題して講演が行われました。

懇親会は、鬼澤会長（昭38卒）、鈴木学校長（昭52卒）、橋本昌茨城県知事（昭39卒）の挨拶のあと、

西野顧問（昭23卒）の発声により乾杯、懇談となりました。懇親会のイベントは茨城出身の津軽三味線奏者川嶋志乃舞さんによる演奏。また、本間康太郎氏（平13卒）から水戸芸術館での「夜のピ



350名で乾杯

クニック」演劇舞台化構想が紹介され、平成28年2月の「東京知道会 同窓の集い」について担当幹事から案内がありました。終盤には幹事引継として、次の学年幹事（昭60・平7・平17卒）が軍配を受け取りました。

実行委員会では託児サービスやパンフレット作製などに加え、当日の写真をインターネット上で限定公開するなど新しい工夫も取り入れています。次回会員の集いへの皆様の参加を心よりお待ちしております。

第65期の代議員会を開催

第65期（平成27年10月～平成28年9月）第35回代議員会は、「知道会会員の集い」に先立ち平成27年11月14日（土）13：30から水戸京成ホテルにおいて開催されました。

審議内容など概要は以下の通りです。

- 第64期の知道会各委員会活動及び事業、母校助成協力事業、学年・地域・職域知道会の活動状況について栗原幹事長から報告されました。
- 第64期の収支決算について根本財務委員長から、監査結果について坂本監事からそれぞれ報告があり、承認されました。
- 第65期の事業計画案が栗原幹事長から説明され承認されました。
- 第65期の予算案について根本財務委員長から説明され承認されました。
- その他として、栗原幹事長より古平事務局長退職のため櫻井事務局長の紹介があり、これに伴い、平成28年1月より事務局長の勤務体制（毎週水曜日勤務）で事務局運営費を削減する旨の説明がありました。
- 第66期第37回代議員会を平成28年11月12日（土）、13：30から水戸京成ホテルで開催することになりました。

会計報告

第64期 H26.10.1～H27.9.30
第65期 H27.10.1～H28.9.30

項目	第64期決算額	第65期予算額
収入の部		
年会費	8,392,000	8,500,000
卒業生入会金	1,610,000	1,600,000
寄附金収入	1,160,000	500,000
会員の集い会費	2,245,972	2,500,000
受取利息	10,086	20,000
特別積立金取崩	2,200,000	2,500,000
義援金会計から繰入	1,200,540	1,200,000
雑収入	47,700	50,000
前期繰越金	108,647	142,888
収入合計	16,974,945	17,012,888
支出の部		
運営費	(13,720,580)	(13,230,000)
会員の集い費	2,288,611	2,500,000
会議費	392,283	100,000
事務局運営費	2,251,326	2,000,000
通信費	3,075,481	3,100,000
消耗品費	85,025	80,000
旅費交通費	173,620	150,000
渉外費	174,264	100,000
支部強化費	541,140	450,000
振替手数料	588,973	600,000
印刷費	3,930,869	3,900,000
リース料	218,988	250,000
事業費	(707,333)	(675,000)
総務委員会費	88,800	65,000
財務委員会費	20,000	20,000
広報委員会費	175,868	180,000
名簿委員会費	0	10,000
親睦委員会費	197,197	200,000
女性会員活性化費	225,468	200,000
母校助成費	(2,404,144)	(2,350,000)
卒業記念品費	495,572	500,000
大会補助金	234,120	250,000
卒業生褒賞費	473,912	400,000
海外派遣助成費	1,200,540	1,200,000
特別積立金繰入	0	0
雑費	0	0
予備費	0	757,888
次期繰越金	142,888	
支出合計	16,974,945	17,012,888

平成28年度会員の集い

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成28年11月12日（土）
13：30～（予定）

場 所：水戸京成ホテル

担当学年：昭和60年、平成7年、平成17年卒の皆さん

平成28年度会員の集い実行委員会のスタートとして、平成27年度の集い反省会並びに幹事引継ぎ会を平成28年2月17日、ホテルウェストヒルズ水戸にて開催しました。正副幹事長、知道会事務局、総務委員、27年度の集い担当学年幹事（昭59、平6、平16卒）、28年度の集いを支える新しい学年幹事（昭60、平7、平17卒）と合計で50名を超える参加者があり、今回の集いの盛り上がり予感させる反省会・引継ぎ会となりました。

講演者・企画など詳細は今後知道会ホームページに掲載してまいります。

年々参加数も増え、平成卒や女性会員の参加も増えて一層賑やかになって参りました「知道会会員の集い」、今年もぜひ先輩・同期・後輩とお誘いあわせの上ご参加下さい。

学年幹事からのメッセージ

昭60卒

昭和60年卒の私たちは、「丙午」の生まれ。あと10年経つとさらに話題になるであろう、飛び抜けて出生率の低い年です。そのおかげでもあるのかとても仲が良く、夏には水戸市内で毎年学年同窓会を開くほか、クラスごと、部活ごと、さらには東京知道会での盛り上げりに端を発した女子会など、さまざまな機会でお交遊を深めています。同窓の皆で会うと当時の話に花が咲き、また現在の活躍ぶりを見聞きして刺激を受けるなど、一高で得たかけがえのない仲間たちの大切さを感じています。国内だけでなく、海外でも多種多様な道を歩んでいる同級生たちの中から、誰に講演を頼むか、この人がこんなところで、あいつはこんな風になったんだ、と私たちも楽しみながら連絡を取り合っている最中です。何よりも、「集い」でも多くの同窓の皆さんにお会いでき、少しでも楽しんでいただけることを主眼として準備を進めております。どうぞよろしく願いいたします。



毎年夏に中華料理店「珍満」で開催されている昭60卒野球部同窓会の模様。ただし約3割が野球部外。(2015年7月)

平7卒 梅香る頃に

3月初旬の春先、梅香（ばいこう）という

町名のあるとおり、水戸の梅は見事な咲き方です。春の訪れとともに、人知れず散っていく様子は、どこかつまじやかなものが感じられました。

水戸第一高等学校を卒業し、はや20年以上の歳月が過ぎました。一言で20年といっても、その長い年月にはいろいろなことがありました。私たちの世代でいえば、仕事に就いて、家庭をもち、子供を育てている方が多いのではないかと思います。私もその一人で、今は二人の子供をもつ父親です。諸先輩を前にして言えたことではないですが、子育ては大変だなと思いながらその成長を見守る日々を過ごしています。

そうした中、「知道会会員の集い」の幹事のお話をいただき、母校にご恩返しできるよい機会だと思いました。心強い同級生とともに会を盛り上げ、参加される皆様の心に残る時間となるよう精一杯取り組みさせていただきたいと思っております。

山内一豊

平17卒

今年度の会員の集いに向けて、私たち平17年度卒の学年幹事は鋭意、準備を行ってまいります。しかし、若い会員の方の大半はこの集いという場は何をやっているかわからない、怖い集会であると思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私も昨年度に初めて参加するまでは同様の感想であったと記憶しております。

私も前回職場の先輩に誘われて初めて参加を行いました。これまで私は高校卒業以来県外に出て暮らしていたもので会への参加はもちろん、知道会で企画されたイベントに参加したことがありませんでした。また、あまり地元と同年代の卒業生の知り合いもいなかったため、集いに参加しても楽しめるのかといった不安はもちろんありました。その上前回の会では同学年の平17年度卒の出席人数はゼロという状態で参加前から不安がありました。しかし、いざ参加すると、フレンドリーでアットホームな空気での進行に少々驚愕致しました。

加えて、会の余興として幹事の方が楽しいイベントを企画しており、前回は、川嶋志乃舞氏に津軽三味線の演奏を披露いただき、盛り上がりおりました。

今回の集いも昨年までの集いに負けず劣らず、参加した方がたが満足できる会にしたいと考えておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



平17卒幹事の皆さん

EVENTS

平成27年

10月

7日 親睦委員会

10日 日立知道会総会

10日、11日

水戸一高歩く会（筑波コース）

11日 昭49年同窓会

17日 第65期第1回幹事会

18日 常陸大宮知道会総会

28日 総務委員会平成27年度「集い」第6回実行委員会

31日 昭38年卒同窓会

11月

14日 知道会会員の集い・代議員会

昭59、平6、平16年卒同窓会

15日 桜川市知道会

19日 税理士「水中・水戸一高」同窓会

28日 医水会

29日 瓜連知道会総会

12月

6日 みつば知道会忘年会

12日 西日本水中一高会
茨城町知道会総会

平成28年

1月

2日 昭39年卒同窓会（ありがとう会）

2月

1日 広報委員会

11日 みつば知道会新年会

17日 総務委員会集い反省会・引継会

20日 東京知道会同窓の集い

29日 平成27年度卒業生「知道会入会に関する説明会」

3月

1日 平成27年度 知道会褒賞授与式

水戸一高卒業式

4日 水戸一高三四会同窓会

9日 水戸一高課題研究発表会・海外派遣プログラム報告会
親睦委員会

12日 五軒知道会総会

4月

7日 水戸一高入学式

16日 第65期第2回幹事会

27日 総務委員会平成28年度「集い」第1回実行委員会

平成28年度定期人事異動

次の方々異動された。

1 退職（教科および在職年数）

前島 秀雄（数学、13年）
銚田第一高校へ（再任用）

吉成 隆一（音楽、4年）
本校勤務（常勤講師）

結城 治夫（理科、3年）
水戸桜ノ牧高校へ（非常勤）

勢司 利之（国語、1年）
水戸桜ノ牧高校へ（非常勤）

森田 みのり（理科、2年）
笠間高校へ（新規採用）

鴨志田 保司（英語、1年）

2 転出

木村 暢子（家庭、11年）
友部高校へ

友部 久美子（事務、4年）
茨城東高校へ

3 転入（学校名は前任校）

宮嶋 貞夫（数学、日立第一高校）

金井 正人（数学、茨城東高校）

谷田部 美紀（事務、緑岡高校）

鈴木 悦男（国語）

川上 仁司（理科）

加藤 郁世（家庭）

入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。（ ）内は現役合格者数。

○国立大学

北海道大 5（2）

東北大 32(25)

茨城大 24(21)

筑波大 28(19)

千葉大 8（5）

東京大 14(9)

東京工業大 7（3）

一橋大 9（7）

名古屋大 2（2）

京都大 4（3）

大阪大 1（1）

○私立大学

青山学院大 23(18)

慶應義塾大 19(10)

上智大 8（5）

中央大 55(25)

東京理科大 57(17)

法政大 37(22)

明治大 70(40)

立教大 33(25)

早稲田大 63(38)

○医学部医学科

国公立 25(12)

私立 8（4）

準大学 3（0）

（平成28年4月1日現在）

平成27年度 生徒海外派遣プログラム実施報告

知道会のご支援を頂きながら実施している生徒海外派遣プログラム（シンガポール研修）も、3回目の現地研修を終えました。生徒15名、引率教諭2名（地歴公民科 黒羽、英語科 小澤）の総勢17名で、3月12日（土）～17日（木）の4泊6日という短期間ながら、大変充実した研修となりました。



マーライオン公園にて

昨年度に続き、昭和56年卒の滝崎成樹様（外務省）、同年卒の島秀宏様（伊藤忠商事株式会社）のご協力を賜り、在シンガポール日本国大使館訪問、伊藤忠シンガポール会社訪問という貴重な経験をすることができました。その他、マレーシアはジョホールバルでの学校交流（南方大学学院）、大学模擬講義（マレー

シア工科大学)、シンガポール国立大学の学生との市内研修などを通して、単なる異文化体験でなく、グローバル化を肌で感じる研修を行うことができました。



伊藤忠シンガポール会社訪問

詳細につきましては、報告書や各種報告会にて発信していきます。ご質問、ご意見を賜りながら、より良い研修を作れるよう努めてまいりますので、今後ともよろしく願い致します。

(引率責任者：英語科 小澤剛 教諭)



マレーシア工科大学にて

平成28年度入学状況

平成28年4月7日、満開の桜花に迎えられる中、茨城県立水戸第一高等学校入学式が挙行され、男子185名、女子139名の計324名が本校での第一歩を踏み出しました。呼名に応じる新入生の張りつめた声には、明るい未来を確信させる力強さを感じられました。

世界は今、グローバル化の波をう

けて既存の価値観が揺らぎ、混迷と軋轢の中で闇雲に未来を模索しているかに見えます。こうした中、水戸一高の「至誠一貫」「堅忍力行」の校是のもとに脈々と受け継がれる「独立不羈」の精神は、むしろ時代の要請であると考えます。

新入生の一人ひとりには、137年の歴史と伝統を誇る水戸一高の最も若い力として、本校の新たな未来を創出する原動力となることを期待するとともに、将来にわたり広く世界で活躍できる人材となることを願っております。我々学年団も全力で関わり続けます。知道会の皆様におかれましても、新しい後輩たちの成長を温かくお見守り頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(1学年主任 関口教諭)

In ASIA アジア知道会がゆるく活動開始

去る3月12日に初の海外地域知道会となる「アジア知道会」がシンガポールにて開催されました。開催地シンガポールをはじめ、クアラルンプール、バンコク、ムンバイのアジア各都市に加え日本からも参加者を得て、当日はシンガポール茨城県人会事務局から西口さんに来賓として参加頂き昭51卒から平7卒まで幅広い年次の皆さんが揃い総勢12名+来賓1名での初会合となりました。ノンアルコールの1名を除きほぼ全員が泥

酔しながら校歌斉唱をする中、参加者全員が下記幹事会を形成する形で正式に「アジア知道会」発足の運びとなりました。今後は「ゆるい」小会合を続けなが

ら来年3月には次回第2回アジア知道会をバンコクで開催予定です。たまたま当日は水戸一高生の海外研修の到着日と重なりましたが、今回は特段のお手伝いはせず、今後例えば研修都市の選択肢を広げる事やシンガポール開催継続の場合でも、手分けをしてお役に立てれば等と考えております。来年またバンコクでより多くの皆様とお会いできる事を心より楽しみにしております！

(昭59卒ムンバイ在住 浅野茂生)



新刊紹介

気づきの読書入門 シニアのためのブック レビュー

横倉弘行 著
窓社
1800円+税



大学で数理経済学を教えていた筆者が、教員生活を辞し気の赴くまま読んだ本を紹介するシニアのための読書入門。硬い本ばかりかと思いきや各書評のタイトルが面白い。太宰治嫌いだった三島由紀夫の言い分・数学がこんなにも面白いなんて・空は曲がっているのだそうだ・なぜなどを解くようにガロワがワカル、等々。本は無限、人生は有限。読書の達人が教える無限の知識を効率よく学べるお勧めの本。

雲流るる果に

佐川政彦 著
東京図書出版
1400円+税



物語は茨城県大子町瀬村根本集落で始まる。父親が戦死した信一郎。敗戦後の村にやってきた米兵と寡婦だった母の間に生まれた万里子。兄妹は祖母と母に育てられていたが、孤児になる。過酷な戦後の時代背景の中、信一郎はある家族の養子となり、万里子はアメリカの父親に引き取られる。

二人は試練を砥石に自分たちの能力を磨き、政治と学問の世界で立身出世し、アメリカで再会する。日本流教養小説の趣がある。

昭40卒 至誠会

9月10日(木)卒業50周年記念同窓会をレイクビュー水戸で開催した。折悪く当日は関東・東北豪雨となってしまった。110名の同窓生が集う予定であったが、地域自治会などでの対応に追われる者の欠席もあり、出席は103名であった。鬼澤邦夫知道会会長も、災害対策によりやむなく欠席となり残念であった。

開会に先立ち、「ソバ、そば、蕎麦を究める」(茨城新聞社刊)の作者・野上公雄君(5組)の講演、続いて野上君の友人であるそば打ち名人の「満志粉」店主・益子正巳氏の実演と野上君の解説で、そば打ちの美しさとその技に感嘆する。

記念撮影を経て、鈴木一良君(7組)の司会により開会。逝去者への黙祷、山野隆夫君(3組)の挨拶、大曾根文彦君(7組)の乾杯により、歓談に入る。実演のあった常陸秋そば、さらに角田芳夫先輩のご配慮により最上級の常陸牛を使ったローストビーフに舌鼓を打ち、その絶妙な味を満喫した。

配布した出席者名簿とともに記されている逝去者も39名に上り、残念な思いのことばも多く聞かれた。20周年同窓会、30周年同窓会に出席して以来という懐かしい友もいて、大いに旧交を温め、時の過ぎ行くのを忘れた。

元応援団リーダーの会沢洋輔君(8組)の音頭により校歌を合唱、エールで締めくくる。

次回の同窓会も、健康に留意して過ごし元気な顔を揃えよう、と約して閉会。

幹事 西野晉哉

間もなく卒業60年 三二会8組同窓会

平成27年9月8日北茨城市の大観荘で昭和32年3月卒業の三二会8組の同窓会が開催された。参加者は12人と幹事夫人2名の14名。最も遠方は大阪である。卒業時の55名は、その30%が他界、15%が連絡不通である。



歓談内容は多岐にわたり、楽しい展開であった。書籍からの知識を披露する者があれば、その説についての議論が展開し、老人の性の話題には、情熱・意欲や身体能力等について各人の心境が語られた。高齢者の集まりでは定番の病気の話はほとんど出ず、趣味や卒業後の交流、個人のエピソードが紹介された。

われわれの第一回の同窓会は、1958年に水戸市の魚政で行われ、その時は同級生の蓮田君のお父さんが、遺影をもって出席された。最近では、2003年、2009年に笠間市の井筒屋旅館で、2012年にホテルレイクビュー水戸で行われ、そして今回である。

それぞれの道に進み、年齢を重ねた者達が、十代の昔にかえり、心おきなく、自由に正直に話し合えるクラス会は、認知症予防にも役立つ気がする。これからも機会をたくさん作りたい。

(文:鈴木由紀生)

東京知道会「同窓の集い」

2月20日(土)、大手町にて恒例の集いが開催されました。今年には東京知道会創立60周年の記念すべき年、校章を白で染め抜いたブルーのタオルが特別制作・配布されました。幹事学年は昭62卒、率いるのは10年ぶりの女性代表幹事・平林(古山)宏子さん。きめ細かな心配りが光りました。いばらき地酒コーナー、「元祖!水高まんじゅう」販売など企画も充実です。

第1部の年次総会は会長挨拶、平成27年度の会務・決算・会計監査報告、役員・事務局・各委員長紹介、来賓挨拶と進みました。

第2部の記念講演は東大医科研附属病院感染免疫内科診療科長・鯉淵智彦氏(昭62卒)による「国境を越えて広がる近年の感染症」。シエラレオネでの感染症制圧対策の貴重なご経験を紹介いただき、私たち日本人がいま注意すべきこともご指導いただきました。

第3部の懇親会は約250名が出席。その中で小島謙一氏(昭62卒)による特別講演「水戸弘道館 東日本大震災修復の記録」が行われ、最後は代表幹事のたすきを昭63卒に引き継ぎ(写真)、和やかな集いはお開きとなりました。

東京知道会会報委員長
栗田真人(昭57卒)



西日本水中一高会

昨年9月26日(土)大阪第一ホテル(マルビル)にて、西日本水中一高会の設立50周年を記念する祝賀会が開催されました。鈴木一弘・水戸一高校長、鬼澤邦夫・知道会会長をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席をいただき、出席者90余名を得て盛会で





く総会を終了しました。総会後の懇親会では、藤田幸久氏の講話・藤田氏と出席者との意見交換会、続いて出席者から、自慢話を交えた近況報告があり、和

やかな雰囲気の中、たいへん楽しく盛り上がった会になりました。

最後に、参加者全員で声高らかに校歌を斉唱、母校の発展と会員の活躍を祈念し散会しました。

(海老澤貞夫 昭36卒)

した。同時に記念事業として、水戸一高へ記念の品をお贈りするとともに50周年記念誌を発行し、50年の歩みを振り返り今後の会の発展への思いを確認しました。

また12月12日(土)には、大阪第一ホテル(マルビル)にて、30余名の出席者で年次総会が開催されました。今回は2年ごとの役員改選の年次に当たり、朝日一・会長(昭41卒)から中崎好文・新会長(昭45卒)へとバトンタッチされました。新執行部は、副会長に伊原郁夫(昭41卒)、廣瀬峰太郎(昭42卒)、福嶋久(昭45卒)、迎純嗣(昭46卒)、幹事長に鈴木和彦(昭57卒)、今回新しく設けられた副幹事長に森雅哉(平5卒)が就任し、ほかに幹事15名(学生幹事1名)が承認されました。今回新たに「交流委員会」が設けられ、川上邦利・委員長(昭38卒)のもと、会員相互の親睦と交流をより深められるような活動を目指していくことになりました。

中崎 好文(昭45卒)

茨城町知道会

平成27年度茨城町知道会総会を、12月12日(土)午後2時から、茨城町の「柴龍」で、参議院議員 知道会会員 藤田幸久氏(昭44卒)・知道会本部副幹事長 飯塚博之氏(昭56卒)のご参加を得、開催しました。

初めに、物故者に対する黙祷をし、総会に入りました。総会は、佐藤方彦会長から今後の活動方針等を含めた力強い挨拶の後、知道会副幹事長の飯塚博之氏から、母校の進学状況・在学生の活動状況・知道会の現況等について詳しいご報告をいただきました。

議事に移り、平成26年度会計決算報告・27年度会計中間決算報告・若い会員の積極的総会参加をめぐる方策等について話し合いをし、滞りな

瓜連知道会

霜月も末の九日、栗原幹事長、那珂知道会の根本会長、藤田参議院議員、寺門・遠藤両市議会議員を迎え、定宿の食事処で賑やかに総会が開催されました。まず、関東・東北豪雨による被害について、会員の安否を気遣った鬼澤会長の葉書が紹介され、心遣いに会員一同深く感謝し、西日本水中一高会五十周年記念の紹介ではそのご繁栄を願いました。記念講話は、総務省に勤務しマイナンバー制度に携わったという昭45卒で当会会員の中井川禎彦さん。タイムリーな話題で興味深く聞かせて頂きました。今回は同じく会員の昭36卒先崎千尋さんの自書「常陸太田英傑列伝」の話があり、次回候補含め会員それぞれの活躍には生涯現役の様子が窺え、頼もしい限りでした。また、新しい顔ぶれも姿を見せ始め、世帯の小さな当会にとってはこの上ない喜びです。天命を知る年頃を迎えての里心かとも思われますがそこは同門の徒、忽ち意気投合し和気藹々と盃を片手に車座となり昔話に興じ、どこそこの息子さんなどと聞くと一層親しみの増してくるのも田舎ならではの知道

会。校歌斉唱の折など二番どうするの声にやろうやろうと蛩声を張り上げ、青春の再来を楽しんだ次第。来年もまた楽しい総会が期待される所です。

寺門康友

剣道部OB会「新春稽古会」盛大に開催

水戸一高剣道部は水中時代から脈々と続く伝統ある部活動であり、多くの卒業生を輩出しているが、OB会という縦につながった一本の組織はなかったので、平成26年1月に「水中・水戸一高剣道部大同窓会」を開催し、正式にOB会を立ち上げたところである。剣道部卒業生相互の交流と現役部員の後援活動を主な任務としている。

さて、1月9日(土)に耐震補強によりリニューアルされた剣道場、宮田忠幸OB会長ほかOB約20名が集結した。50年前以上の卒業生から昨年卒業した者まで、老いも若きも一堂に会して剣を交え、心地よい新春の汗を流すことが出来た。当日は、歴代顧問の中庭秀樹先生・野澤龍之先生のほか、前顧問の橋正宏先生・前校長の小田部幹夫先生も駆けつけてくれた。現顧問の小澤剛先生から現部員の活動状況の報告とOB会からの支援に対する御礼の言葉があった。現役部員も加え総勢40名を超える剣士の有意義な新春稽古会が盛大に開催されたのである。稽古終了後は水戸駅前「本陣」で焼き鳥を舌鼓しながらさらなる懇親を深めることが出来た。

今回は平成29年1月7日(土)を予定している。期日が近くなったら知道会HPに掲載する予定なので、さらなるOBの参加を期待します。

(剣道部OB会幹事長

小田倉康家(昭45卒))



親睦委員会

親睦委員会では、本年度より今までのミニ歩く会を4月上旬の週末に開催とし、歩く会終了後は桜の下でお昼を食べるお花見会としました。

今回は、知道会HP (www.chidokai.jp) とフェイスブックでの告知となりましたが、今後、皆さまへ浸透できるように告知方法を考えたいと思います。

また、例年行われている知道会親睦ゴルフ大会は、6月9日木曜日に大洗ゴルフクラブで行われます。24組96名の参加を募ります。名門コースで先輩後輩方と一緒にプレーできる醍醐味をぜひ味わって頂きたいと思います。詳細は知道会のHPをご覧ください。

今年は新たなイベントとして、9月10日(土)お昼頃、阿字ヶ浦クラブでバーベキュー大会を開催いたします。こちらは、平成年度の卒業生を対象に、若い方々が知道会の活動に気軽に参加できるよう企画いたしました。参加費は3,000円。詳細が決まりましたらHPにアップ致します。どうぞ、皆さまのご参加をお待ちいたしております。

財務委員会

年会費の納入は、口座振替で！

年会費の納入は、銀行等預金口座振替が便利です。何よりも皆様の毎年の振込み負担が軽減され、知道会の目的である「会員相互の親睦」と「母校発展の助成」事業の安定化に寄ることができます。

皆様の会費は、「母校発展の助成」事業として、各種大会参加への援助や歩く会支援、生徒海外派遣の助成など、母校の発展と将来ある在校生への支援に繋がっています。

母校の発展は、すなわち私たち同窓生にとっても誇りとなるものです。未来に繋がる母校支援と同窓生の親睦をさらに深めるために、ぜひとも口座振替による会費納入にご協力をお願いします。

また、皆様の同窓会や地域、職域での集いの際には、皆様の母校愛を示す寄付金につきましても、よろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局異動

事務局長退任にあたって

此の度、5年間勤めました事務局長を退任致しました。その間一番の思い出は、東日本大震災に遭遇し、水戸一高の復旧・復興に対する会員各位の母校愛・絆の深さを体験したことです。総数37,000余名の有為な人材を有する同窓会は、稀有の貴重な掛け替えない財産です。知道会の益々のご隆盛を祈念し、在任中賜りましたご指導・ご鞭撻に深謝し、新事務局への倍旧のご支援・ご協力をお願い申し上げ、退任挨拶と致します。



古平さんありがとうございました

古平恒夫(昭37卒)

新任のご挨拶

この度、縁あって事務局長になりました昭43年卒の櫻井です。高校生の時から目立たず、学生、社会人になっても普通でした。今回、知道会事務局に入ることになり年齢的にも大いに頑張るとは言えませんが、数多くの知道会員が楽しめ、気楽に参加できる知道会を目指し努力したいと思います。又、知道会の年会費納入率のアップにも貢献したいと考えております。ご支援宜しくお願ひ致します。



櫻井和郎(昭43卒)

物 故 者 (H27.9 ~ H28.3 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

歴代校長	橋本 一郎	昭19中	堤 昊	昭23中	小室 忠一	昭32高	大貫 厚生
旧職員	石河 旭	昭19中	橋 寅	昭24中	薮 賢寿	昭32高	島田 匡也
旧職員	瀬谷 義彦	昭19中	広瀬 和夫	昭25高	小泉 昭雄	昭32高	塚本 昌昭
旧職員	橋本 一郎	昭20中	稲葉 竹男	昭25高	川原 博行	昭32高	松沢 昭雄
旧職員	毛利 方雄	昭20中	山本 和男	昭26高	石井 連蔵	昭33高	関 敏夫
昭4中	鈴木 鏡	昭20中	大場 浩一	昭26高	内山(白土)岩男	昭33高	小森嘉代子
昭6中	黒沢 一郎	昭20中	佐藤 貢	昭26高	大竹祐一郎	昭34高	阿部 元雄
昭7中	佐藤 延忠	昭20中	鈴木 利治	昭26高	柏村 一郎	昭34高	榎本 浩
昭10中	今井 健次	昭20中	関山 敬次	昭26高	神永 誠	昭34高	小野 正紀
昭12中	伊藤九一郎	昭20中	川又銀蔵(昭三)	昭27高	田中 主悦	昭34高	寺門 弘道
昭13中	鈴木 和夫	昭20中	小口 哲夫	昭27高	西川 義明	昭34高	鈴木賀津文
昭14中	朝日 博	昭20中	竹谷 廣	昭27高	沼尻 滋	昭34高	廣島(小池)桂子
昭14中	石田 隆昭	昭22中	加藤 和夫	昭28高	大和田邦朗	昭34高	奥谷 哲樹
昭14中	川又 一雄	昭22中	毛利 方雄	昭29高	岩城 弘志	昭34高	田中日出夫
昭14中	沓掛(萩谷)邦雄	昭23中	打越 常利	昭29高	鯉沼 博	昭35高	松井 蕃
昭14中	渡辺 操	昭23中	大和田久夫	昭29高	鬼沢(蛭沢)邦夫	昭37高	鈴木 浩道
昭16中	石川 達男	昭23中	三森(笠井)武夫	昭30高	荻原 勅彦	昭39高	皆川 健二
昭16中	木村 光克	昭23中	久須美 是	昭30高	宮本 俊男	昭40高	岡(金井)優子
昭16中	生田目英雄	昭23中	斎田 和夫	昭30高	坪井 政治	昭40高	田口 邦彦
昭16中	金澤 亨	昭23中	高野 実	昭30高	小田倉 尚	昭46高	小沼 秀道
昭17中	来栖(長谷川)洋	昭23中	竹田 豊	昭30高	加藤(菊池)善	昭49通	會澤 秀勝
昭18中	太田省三郎	昭23中	堤 彪	昭30高	塩 暢夫	昭58高	山田 明德
昭18中	玉田 功一	昭23中	戸島日出雄	昭31高	萩野谷敏夫	昭59高	舊橋 博
昭19中	石川 清敏	昭23中	古川 和久	昭31高	郡司 篤晃	昭60高	平野 康郎
昭19中	海老坪 弘	昭23中	谷中 藤太	昭31高	沼田 安弘	昭60高	八幡 健一

学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年10月2日)
 平成28年 創立138年
 同窓会員数 37,810人(平成28年5月現在)
 住所判明者 21,630人
 在籍生徒数 971人(男子545人 女子426人)